

成功へのキセキ

南の国の ナンセンス税理士

第23回 ワタシのコドモ時代～衝撃の告白！？

「しつけ」のために、山中に置き去りにされ、行方不明だったコドモが、無事に見つかったという事件がありました。生きる手段を持たない小学生のコドモが、一週間も一人で生き伸びたのは、奇跡としか言いようがありません。日本中の誰もが、我がことのように安心したのではないのでしょうか。

コドモが発見された後も、この件はテレビで特集され、「しつけ」について、様々な体験談や意見が飛び交っていました。子育てに正解はないし、家庭環境やコドモの性格が違えば、しつけに対する考え方も100人100様なのは、いうまでもありません。

けれど、私が引っかけたのは、インタビューに答える親たちの多くが、自分も同じような「しつけ」をしたことがあると答えていたことです。

コドモが言うことを聞かないので、車から降ろして、置き去りにしたことがあると…。

コドモの生死が不明の間、もっとも辛い思いをしたのは、当事者であるご両親であることは、間違いありません。部外者である私が、もっともらしい批判をするのは気がひけますが、これだけは、言わせてください。

子育てで、1番大切なことは、「コドモを死なせないこと」だと。2番も3番もあります。それ以外のことは、すべて番外だと。

私は、働きながらコドモを育てました。専業主婦のように、きちんとしつけも出来なかったし、勉強も見てあげられなかった。家事力もないし、手料理も美味しくない。ましてや手作りのお菓子など、作ったこともありません。母親らしいことなど、何一つできませんでした。

それでも、いつも、いつも気をつけていたのは、何があっても、コドモの生命は守るということ。

外出するとき、決してコドモから目を離さない。海や山に行ったときは、どんなに疲れていても、コドモと一緒に走り回りました。一瞬たりとも、コドモを見失わないために。

コドモの体調が悪ければ、いつでも仕事はドタキャンしました。熱でうなされる夜は、いつ急変しても対応できるよう、一晩中、眠りませんでした。

コドモを死なせないこと。
それだけが、母親としての私の役目だと思っていたか

らです。

こんな私の子育てメソッドは、すべて母から「教わり」ました。母は、いわば私の反面教師だったのです。

私が母からされて、嫌だったことは、自分のコドモにしない。コドモは、親のペットでも、附属物でもないということ。コドモは、コドモなりの人格をもっており、親の思い通りにはならない。

それが、私の子育てメソッドです。コドモにとって、親は絶対的な権力者です。私は、親から「恐怖」で支配される辛さを、誰よりも知っているコドモでした。母が亡くなって随分たつので、公表しても誰も傷つかないと思います。

母はコドモの愛し方が、とても下手な人でした。コドモの頃、私は毎日、毎日、泣いて暮らしていました。母親は「しつけ」に厳しく、ごめんなさいと謝るまで、決して私を許さなかったからです。ある時は、納戸に閉じ込められ、ある時はぶたれ、ある時は言葉で罵倒されました。何日も口を開いてもらえない事もありました。

「この子は、ホントに可愛くない。」
幼い私の目の前で、近所の人や親戚に向かって言うのを、何度も何度も、聞かされました。

理由は、一つ。私が、母の言うことを、聞かなかったからです。

毎日6時間、ピアノの練習をしない。1回で新しい曲を覚えな。前回のお稽古で指摘されたことが、できない。友だちと遊びたいと駄々をこねる。

母は、私をプロのピアニストにするために、時間とお金と情熱を注ぎました。ピアニストになるのが、母自身の独身時代の夢だったからです。

3歳から、来る日も来る日も、ピアノの練習。有名な先生のレッスンを受けるために、そのお弟子さんが毎日、自宅に来てピアノを教えてくださいました。学校から帰ると、ピアノのレッスン。終わったら、寝るまで一人でお稽古。朝起きたら、学校に行くまで、またお稽古。

あそぼ～と誘いにくる友だちは追い返す。ひどい時には、友だちのご両親に、うちの子は普通のコドモとは違うので、誘わないでくださいと電話までかけていました。

自分に才能がないのは、自分で分かっていました。何

◆筆者 原 尚美 (はら なおみ) プロフィール

税理士。東京外国語大学卒業。TACの全日本答練(現：全国公開模試)「財務諸表論」「法人税法」を全国1位の成績で、税理士試験に合格。直後に出産。育児と両立させるため、1日3時間だけの会計事務所からスタートし、現在は全員女性だけのスタッフ30名、一部上場企業の子会社やグローバル企業の日本子会社などをクライアントにもつ。ミャンマーに会計サービスの会社を設立し、海外進出支援にも力を入れている。著書に「小さな会社のための総務・経理の仕事がわかる本」「小さな起業のファイナンス」(いずれもソーテック社)、『51の質問に答えるだけですぐできる「事業計画書」のつくり方(日本実業出版社)』『トコトンわかる株式会社のつくり方(新星出版社)』『『世界一ラクにできる確定申告(技術評論社)』『一生食っていくための土業の営業術(中経出版)』など。その他、「経理ウーマン」「デイの経営と運営」など雑誌への寄稿や、商工会議所、中小企業投資育成株式会社、日本政策金融公庫などでの、セミナー実績も多数。

より、強制されてする毎日6時間の練習は、苦痛以外の何物でもありませんでした。上手ね～と周りの大人から、褒められても、ピアノなんて、全然好きになれませんでした。

音楽は好きになれませんでした。私は小さいころから、犬や猫などの小動物が好きでした。けれど母が、動物嫌いだったので、ペットは飼ってはもらえませんでした。そこで、親戚の家で飼っているボメラニアンに会うため、小学生のころ、口実を見つけては、その家に遊びに行ったものです。当たり前ですが、ワンコは、時どき遊びにくる私より、飼い主である従姉妹になつていました。

きっかけは忘れましたが、ある時、私はボメラニアンを抱っこして、階段の途中に「置き去り」にしました。急な階段だったので、ワンコは上に上がることも、下に降りることもできません。何だったかは忘れましたが、用事を済ませてから、階段の途中のワンコを迎えに行くと、恐怖のためか、私にギュッとしがみついて来たのです。

必死で、ギュ～ッと…。私は、しがみついてくるワンコの感触が嬉しくてたまりませんでした。

私のことを、こんなにも必要としてくれているんだわ…。なんて可愛いのかしら。

小学生の私は、その感触をまた味わいたくて、それから何度も、階段の途中にワンコを置き去りにするようになりました。

私だけに、またしがみついて欲しい。私が、あなたを恐怖から救い出してあげるからね。

いま思うと、それがいかに間違っていたか、よく分かります。恐怖で、相手を支配し、服従させることが、いかに理不尽なことか…。それは当時、母が私に対し

てしていた「しつけ」と、変わらないやり方でした。

こんな風に、私たち大人は、ついつい恐怖を与えることで、コドモを支配しようとしがちではないでしょうか。今回、ニュースになった置き去り事件のご両親も、まさにこのパターンです。「パパやママのいうことを聞かなかったら、山の中においていくわよ。」

ここまで極端ではなくても、たとえば「いうこと聞かないと、鬼が(←古!!(笑))くるわよ」とか、「先生に怒られるわよ」などというの、すべて同じ発想です。

けれど、「恐怖」や「不安」で相手をひざまずかせることは、できません。私は、圧倒的な権力をもつ母に、ひたすら反発し、そして、もちろんかなうはずもなく、服従させられ、傷つき、泣いてばかりいました。

もちろん、これはいわゆる虐待とは違います。母は、母なりに私を愛していたのです。大人になって、母は単に、愛し方を知らない人だったのだと思えるようになりました。けれどコドモ時代の私は、深く傷つき、早く家をでて、独立したいと、そればかり考えていました。一步間違えれば、家出少女になっていたかもしれません。幸か不幸か、幼いころから束縛されて生きてきたために、家を飛び出す勇気がなかったのです。

ピアノのお稽古は強制されましたが、勉強しなさいと言われることのなかった私は、母に反発するために、一生けん命本を読み、勉強しました。宿題をしているの、といえば、ピアノのお稽古をしなくてすんだからです。

そして、今の私があります。だから、今の私は、皮肉なことに、母のおかげでもあるのです。

ともあれ、「置き去り」事件をきっかけに、支配される側、恐怖を与えられるコドモの気持ちを、日本中のパパやママが考えてくれたらな～と、思うばかりです。

好評
発売中

7人家族の主婦で1日3時間しか使えなかった私が知識ゼロから難関資格に合格した方法

原 尚美 著 (中経出版) 1,300円+税

アタマのいい人と勉強のできる人は違います。勉強のできる人は、点をとるコツを知っているだけなのです。どうすれば本番で実力以上の力を発揮して、難関試験に合格するための、超合理的な、大人の勉強法について書いたものです。がんばっているのだけれど、なぜか結果のでない方、勉強したいのに、仕事が忙しくて時間がとれないビジネスパーソン、今よりひとつ上の人生を目指したくて、悩んでいる方、このまま家庭の中だけに埋もれてしまいたくない子育て中のママ、そんな皆さんへの応援の気持ちを込めた一冊です。

7人家族の主婦で1日3時間しか使えなかった私が知識ゼロから難関資格に合格した方法

原 尚美

合格率10%以下の難関資格にストレートで合格した驚異的なメソッド公開!

資格試験、留学検定、英語検定……難関資格から、どんな試験も必ず受かる!